

TPP交渉における国会決議の実現を求める 広島県民緊急集会



医療・農業関係 53 団体 500 名 広島県庁で『情報開示』を訴える

5月17日 広島県庁第一駐車場

(写真中央：リレートークで酪農の厳しい現状を訴える岩竹組合長)

J A や医師会等の広島県内の五十三団体からつくる「TPP から食とくらし・いのちを守る ネットワークひろしま」は、平成二十五年四月の衆参農林水産委員会決議を遵守した交渉を行うことを求めるため、「広島県民緊急集会」を開催し、地元国会議員や県議会議員を来賓として招き、酪農関係者ら約五百名が参加した。

広酪からは岩竹重城代表理事組合長をはじめ、西中晃参事、櫻木茂夫事業推進課長補佐、吉岡友和総務管理課長、森田康博総務管理課主任の五名が参加し、広酪独自の「STOP TPP」オリジナルTシャツを身にまとい、プラカードと横断幕を掲げ、酪農窮状を訴えた。

J A 広島中央会の村上光雄会長は挨拶で「重要な交渉なのに何処まで進んでいるか中身が分からず非民主的」と批判され、構成団体の代表者によるリレートークでは、酪農業を代表して岩竹組合長が「ただでさえ輸入飼料の高騰で経営が厳しい。TPPの先行きが見えない中で、後継者育成や規模拡大に踏み切れない現状がある。県内の生乳出荷組合員は百四十九戸であるが、TPPの参加により酪農家がなくなる危険性がある。そうならば農業に欠かせない堆

肥も無くなり、その影響は大きい」と、県内の実情を踏まえる中で力説した。

また、医療関係者からは「国民皆保険制度があるのは日本だけでなく、TPPに参加することによってお金の無い人は医療が受けられなくなる可能性がある」と述べ、交渉内容が公開されない実情に不満を訴えた。

リレートーク終了後、「TPP交渉における国会決議の実現を求める広島県民アピール(案)」が採択され、参加者全員による「ガンバロー三唱」で団結をアピールした。この集会の模様は夕方のニュースで放送され、翌日の新聞にも掲載された。



(ガンバロー三唱では最前列で拳を高らかにあげる広酪職員)

考えてみよう TPP 検索 <http://www.think-tpp.jp/>

おめでとうございます 酪農後継者 4 名を専務が訪問し激励

(4/22、6/5)

広酪は、酪農後継者が生乳出荷組合員として、親からの経営移譲や法人経営者の変更等を行われたケースに備えて、酪農経営移譲支度金制度を設けています。

このほど、鈴木道弘専務が4名の該当者宅を訪問し、生産基盤の拡大を求め、激励の言葉とともに酪農経営移譲支度金を手交しました。



◆(有)山延牧場 山延伊久江さん

酪農経営発表大会前の4月22日に訪問「後継者支援支度金、大変ありがとうございます。発表大会では、全国大会に行けるよう頑張りたいです」



◆(有)安瀬平牧場 温泉川直寛さん

「経営継承し身の引き締まる思いを感じています。今後更に後継牛確保に努め、健全な経営に向けて頑張ります」



◆(農)下金田酪農組合 道下真弘さん

「今後、より一層の指導をお願いします」



◆赤木牧場 赤木靖さん

「これを励みに今後40年、頑張りたいです」

平成26年度 オープンキャンパス開催



■参加申込

開催日の1週間前までに参加申込書を下記まで送付して下さい。

■参加申込先 〒717-0604

岡山県真庭市蒜山西茅部 632

(公益財団法人) 中国四国酪農大学校 教務課 TEL : 0867-66-3651 FAX : 0867-66-3652

■目的

中国四国酪農大学校の教育内容や学生生活の様子について実際に体験しながら理解を深めること。

■募集人員

各回 20名程度

■開催日

第1回:平成26年7月24日(木)~25日(金) (1泊2日)

第2回:平成26年8月28日(木)~29日(金) (1泊2日)

■開催場所

中国四国酪農大学校

■詳しくはホームページをご覧ください

中国四国酪農大学校

検索

<http://www.rakudai.ac.jp>